

千葉国際芸術祭 2025 のプレ企画「今昔絵有動物借景」を開催します

千葉市では、令和7年度に開催予定の千葉国際芸術祭 2025 に向けて、プレ企画「今昔絵有動物借景」を開催しますので、お知らせします。

1 概要

(1) イベント名称

こんじゃくえーあーどうぶつしゃっけい
「今昔絵有動物借景」

(2) イベント概要

「今昔絵有動物借景」は、スマートフォンを活用したAR（拡張現実）体験を通じて、千葉市美術館が所蔵する絵画に描かれた動物と実際の動物とを見比べたり、ミーアキャットの視点で大きな動物を見上げる仮想体験ができます。

今昔をまたぐ多彩な動物イメージとテクノロジーが融合することで起こる鑑賞の「ゆらぎ」を楽しんでください。

(3) 開催日程

令和7年3月25日（火）～3月31日（月）

各日9：30～16：30（入園は16：00まで）

※3月26日は水曜日ですが、臨時開園します。

(4) 会場

千葉市動物公園 平原ゾーン（若葉区源町280）

(5) アーティスト

てんぶら
TMPR

(6) 参加料

無料 ※入園料は別途必要となります。

(7) 協力

千葉市動物公園、千葉市美術館

(8) 千葉国際芸術祭 2025 公式ティザーサイト

【URL】<https://artstriennale.city.chiba.jp/news/67d394927d40724629947efb/>



イベントイメージ



2 取材について

現地取材を希望される場合は、取材希望日の3日前までに文化振興課（電話245-5261）までご連絡ください。また、取材の際は、貴社腕章を着用してください。

<参考>

1 千葉国際芸術祭とは

千葉市では、市制100周年記念事業の一つとして、また、文化プログラムとして令和3年度に「千の葉の芸術祭」を開催しました。

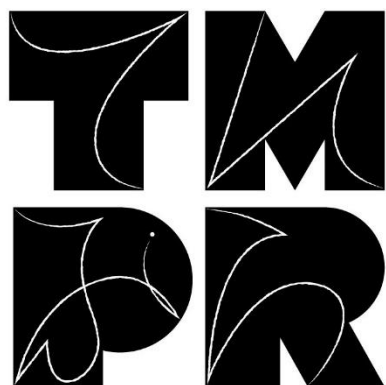
芸術祭を一過性の取り組みで終わらせず、継続して開催することで、本市の文化芸術の振興に大きな役割を果たすことができると考え、芸術祭の定期的な開催に向けて、「千葉市芸術祭基本構想」を策定し、令和7年度に「千葉国際芸術祭 2025」として開催を予定しています。

なお、令和7年度以降も、本芸術祭を定期開催していくことで、本市の魅力を国内外問わず広く発信して文化芸術による多様な交流を生み出し、文化芸術にあふれた創造性豊かな街となることを目指します。

2 アーティストプロフィール

てんぶら いわさきょうだい ほりかわじゅんいちろう みやまゆう なかた かずえ
TMPR (岩沢兄弟+堀川淳一郎+美山有+中田一会)

デジタルとフィジカル、ハイテクと手作業、モノの視点とヒトの視点を行き来しながら、まちと遊ぶアートユニット。立体デザイナー、立体プログラマー、平面デザイナー、対物プランナー、対人プランナーが協働中。2023年結成。読み方は「てんぷら」。



問い合わせ先

【本イベントに関すること】

市民局生活文化スポーツ部文化振興課 電話 245-5261

【動物公園に関すること】

都市局公園緑地部動物公園 電話 252-7566